



# やな 八名でいつまでも 元気で楽しく暮らしたい！

～八名地域計画～



令和5年1月

しんしろ

新城市 八名地域自治区

## はじめに

八名地域自治区は、平成25年度制定の「新城市自治基本条例」に拠り、市内の他の自治区とともに発足しました。

地域計画は、地域全体を見渡しながらか自治活動ができるようにするために策定し、現在は平成31年2月に改定されて運営をしています。

今回、従来の計画にあった『9つの柱』を『4つの柱と11の目標』に組み直し、内容がわかりやすく、また活動しやすいように改定しました。

これにより、今まで以上に、行動計画を立案し、活動されることを期待しています。

本計画改定により、八名地域の住民による主体的な地域活動がさらに活性化し、より暮らしやすく、住民が生きがいを持ち、「八名でいつまでも元気で楽しく暮らしたい！」地域になることを願っています。

令和5年1月



市民自治  
シンボルマーク

自治（じち）をひらがなで図案化し、世代から世代へのリレーを表現しています。

色彩は、市内を流れる清流の青色、自然豊かな山々の緑色、そして、世代をつなぐバトンに桜の桃色をイメージしています。

# 目次

## 第1章 地域計画とは

- 1 地域計画の目的
  - (1) 「地域計画」とは何か . . . . . 3
  - (2) 「地域計画」はなぜ必要か . . . . . 3
- 2 地域計画のしくみ
  - (1) 位置付け . . . . . 3
  - (2) 構成 . . . . . 3
  - (3) 推進体制 . . . . . 3
- 3 計画の見直しや修正の方法
  - (1) 基本計画 . . . . . 4
  - (2) 修正計画 . . . . . 4

## 第2章 地域計画の内容

- 1 4つの柱と11の目標 . . . . . 5
- 2 実施計画 . . . . . 6

## 第3章 資料編

- 1 八名はこんな地域
  - (1) 場所と交通 . . . . . 10
  - (2) 歴史と史跡・伝統文化 . . . . . 11
  - (3) 主な公共施設 . . . . . 13
  - (4) 地域内組織 . . . . . 14
  - (5) 人口推移 . . . . . 16
  - (6) 主な産業 . . . . . 18
- 2 アンケート（H28年度実施）より
  - (1) おすすめの場所 . . . . . 20
  - (2) おすすめのもの . . . . . 20
  - (3) 危険だと思うこと . . . . . 21
  - (4) 不便だと思うこと . . . . . 21
  - (5) こうだったらいいな！ . . . . . 21
- 3 地域計画策定の経過 . . . . . 23

# 第1章 地域計画とは

## 1 地域計画の目的

### (1) 「地域計画」とは何か

「地域計画」とは、自分達の住む地域の現状と課題を把握し、将来、子供からお年寄りまでが住みやすい地域を作るための方法などをまとめたものです。

### (2) 「地域計画」はなぜ必要か

より暮らしやすい八名地域にするためには、地域の現状と課題をしっかりと把握し、八名地域に暮らす住民が同じ方向に向かって計画的に「地域の課題解決」や「地域の活性化」に取り組んでいくことが求められます。そこで八名地域協議会では「八名地域計画」を策定し平成30年度より運営してきました。そこから見えたことは「計画を推進するしくみづくり」の必要性です。

新たに組み直した4つの柱と11の目標を基に「人づくり・しくみづくり」を進めていき、現在ある組織や団体と連携することによって八名地域住民による主体的な活動がさらに活発化し、この地域がより暮らしやすく、住民が生きがいを持ち、いつまでも住み続けたいと思える地域にしていきたいと思います。

## 2 地域計画のしくみ

### (1) 位置付け

地域計画は、地域住民の合意形成が図られ、地域が主体となって推進するまちづくりの指針として位置づけます。

### (2) 構成

地域計画は、以下の2項目で構成されています。

- ① 4つの柱と11の目標
- ② 実施計画

### (3) 推進体制

まずは、この地域計画自体を地域住民で共有することが重要です。できる限り多くの方に地域計画を知ってもらい、八名地域協議会と実施する組織・団体と連携した推進体制を整えます。

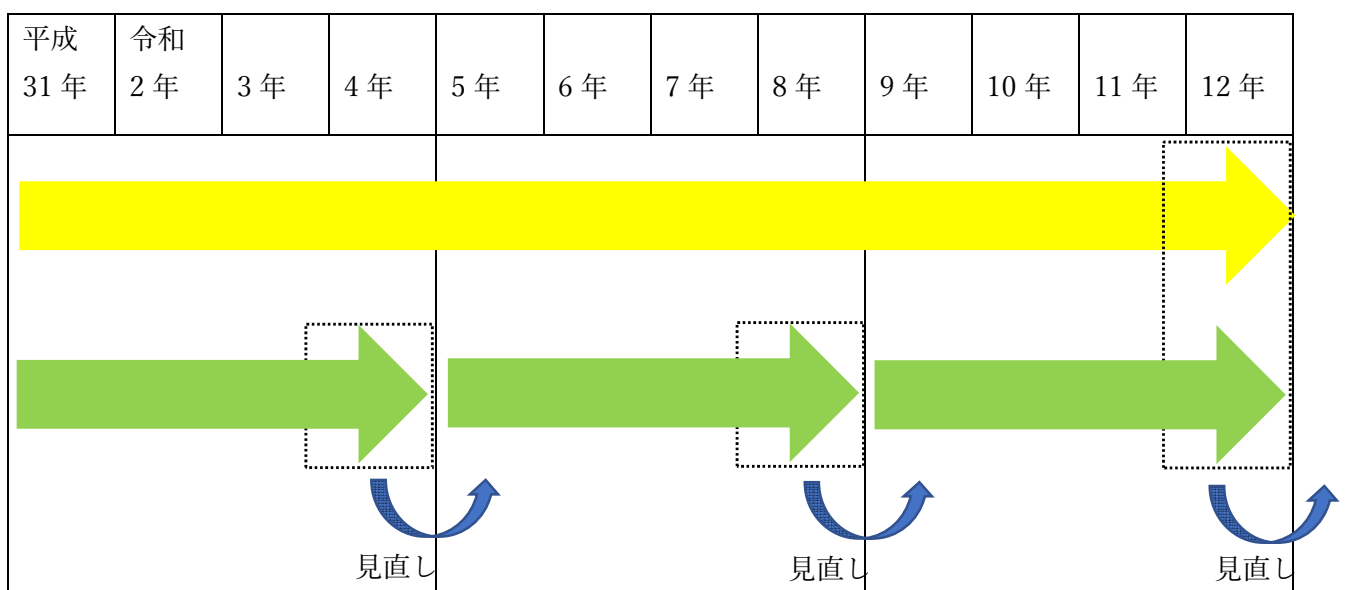
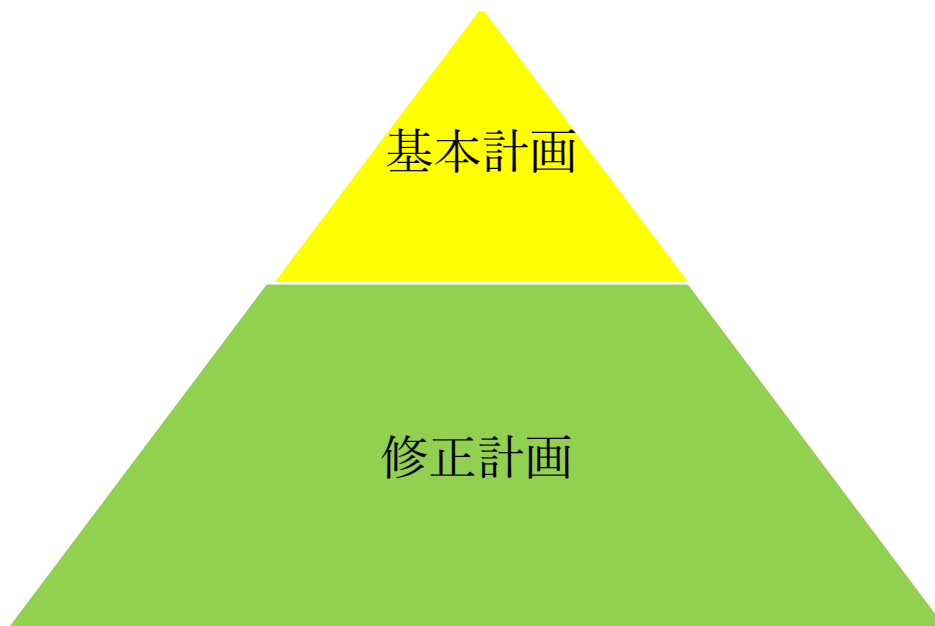
### 3 計画の見直しや修正の方法

#### (1) 基本計画

1 2 年を単位に基本計画の見直しを行います。

#### (2) 修正計画

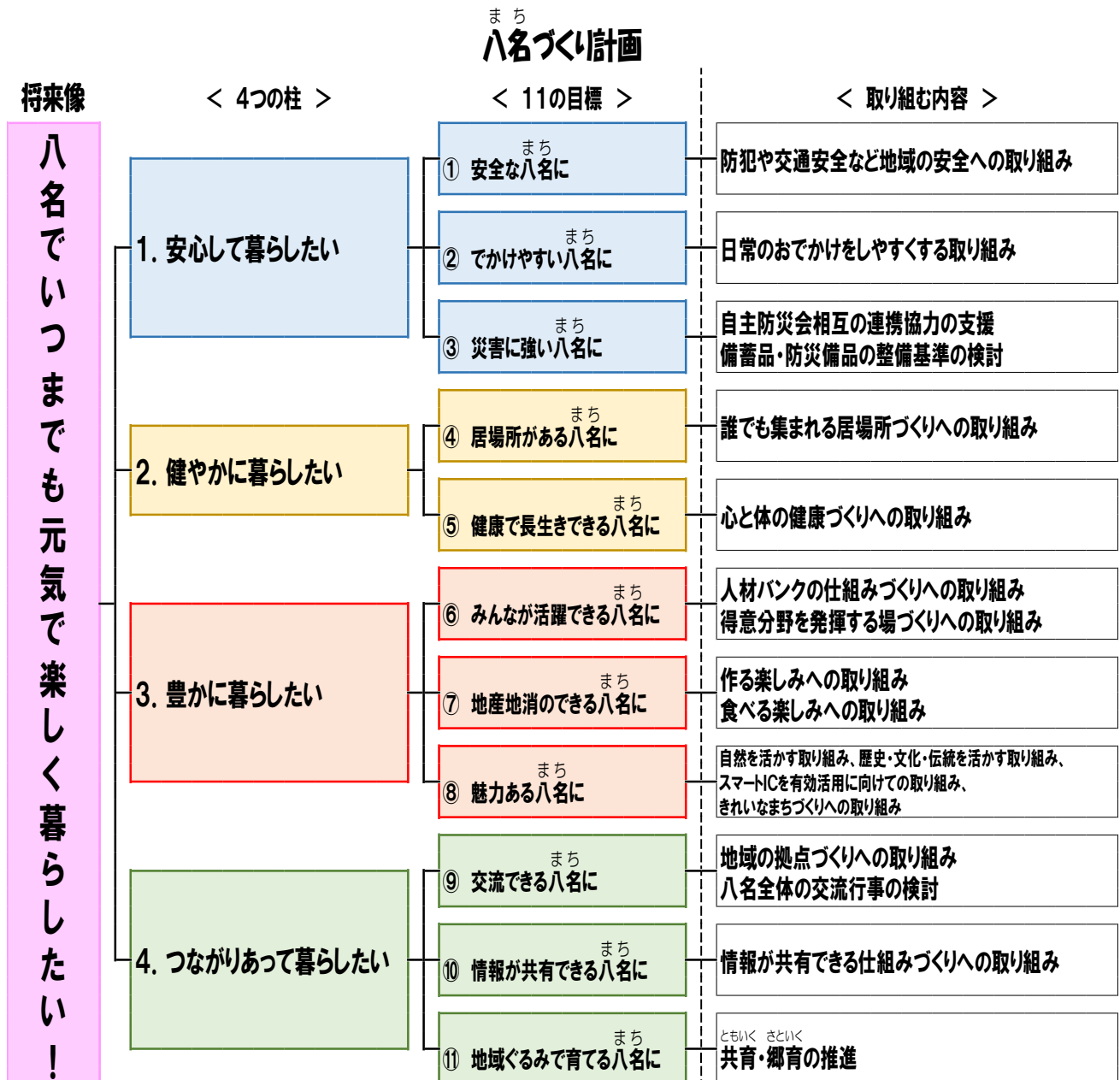
4 年単位で振り返りを行い、地域協議会内の分科会方式にて修正改廃の検討を行います。



## 第2章 地域計画の内容

### 1 4つの柱と11の目標

計画策定時からの将来像はそのままに、9つの柱を新たに「4つの柱と11の目標」として組み直しました。





## 2 実施計画

( \_\_\_\_\_ ・ ・ ・ 活動団体名 )

### 柱1 安心して暮らしたい

#### ①安全な八名(まち)に

住み慣れたこの八名地域が安全で安心であることは住民全員の願いです。地域の危険箇所を少しでも減らし危険に対する意識をより一層高め地域で安全安心に暮らし続けられるように取り組みます。

項目	内容
・行政区と連携した安全・安心への取り組み	・安全に通れる道路への取り組み ・危険箇所解消への取り組み ・救命救急講習の実施（救命行動やAEDを使える人を増やす） ・地域住民によるパトロール等を実施

##### 【これまでの取り組み】

- ・各行政区による安全啓発や改善要望、自主的な保全や修繕、学校による通学路調査や啓発等
- ・市民活動団体による防犯パトロール（八名青パト隊、八名みまもり隊）
- ・危険箇所情報をマップに表示し、JAプラザにて閲覧
- ・カラー舗装や安全灯上乗せ補助、カーブミラーの設置、消火器の更新や上乗せ補助、AEDの設置

#### ②出かけやすい八名(まち)に

八名地域の公共交通機関はSバスだけであり現在小学生の通学に主に使われています。高齢化が進んでいくにあたり市街地への通院や買い物などの日常生活に支障を感じる方や高校生の通学で不便を感じる方が増えています。地域をまたぐ課題でもあり、市や他地域とも協力してより良い公共交通になるように取り組みます。

項目	内容
・市と協働して八名地域に適した公共交通環境を整備 ・公共交通利用促進の取り組み	・地域の意見を聞く茶話会の実施 ・情報提供、周知活動、お試し乗車

##### 【これまでの取り組み】

- ・交通をテーマとした茶話会を実施
- ・市のお出かけ講座を活用したバスの乗り方講座を実施
- ・買い物環境改善として、移動販売車の誘致（J笑門、セブン、くるくるもっくる）
- ・R3地域発の「八名地域の交通を考える会」発足

#### ③災害に強い八名(まち)に

近年各地で自然災害が発生しており八名地域でも油断ができなくなっています。そこで八名地域の被災の未然防止、軽減のため地域総ぐるみで防災対策に取り組みます。

項目	内容
・自主防災会相互の連携協力の支援 ・避難所についての検討 ・防災学習への取り組み	・自主防災会連絡会の検討 ・HUG（避難所運営ゲーム）の実施 ・学習したことを訓練等に反映できるしくみづくり

##### 【これまでの取り組み】

- ・毎年、各行政区での防災訓練（自主防災会）
- ・防災備品や備蓄品の整備
- ・R2安否確認の旗の各戸配布
- ・R1共育の日に八名の小中3校合同でのハイゼックス炊飯とカレーの炊き出し訓練及び防災備品等展示ブースの企画の実施

## 柱2 健やかに暮らしたい

### ④居場所がある八名(まち)に

行事や祭り、店の減少などにより「つながり」が希薄化してきています。ちょっとした心配事は人に話しを聞いてもらったりおしゃべりをする事で解決することもあります。誰でも気楽に寄って集まれる場所を作り出すことで人に出会いコミュニケーションの取れる地域を目指します。

項目	内容
<ul style="list-style-type: none"><li>・交流場所の整備</li><li>・交流活動の企画及び実施</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・行政区集会施設の小規模修繕に対する支援</li><li>・未就園児の交流に係る支援</li><li>・その他地域住民の交流に資する施設の整備の支援</li><li>・「茶話会」等の開催</li><li>・交流活動への支援</li><li>・交流活動団体への支援</li></ul>

#### 【これまでの取り組み】

- ・活動団体による取り組み：太極拳、健康体操
- ・地域でのミニデイ（中宇利ゆうあい、やなマルシェ）、健康サロン（まるまるサロン）
- ・結カフェ（陽だまり・味喜川・やなマルシェ）
- ・子供の学習の場，子育て支援（やなマルシェ）

### ⑤健康で長生きできる八名(まち)に

八名地域では高齢化が進んでいますが、農作業をしたり体を動かしている元気な方が多くいらっしゃいます。いくつになっても元気に自立して過ごせる体力を維持し、楽しみながら健康寿命を延ばすことを目的とした取り組みを行います。

項目	内容
<ul style="list-style-type: none"><li>・虚弱化（フレイル）予防及び生活習慣病の啓発と活動</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・健康をテーマとした茶話会・勉強会の開催</li><li>・健康維持増進を目的としたイベントの開催</li><li>・「健康の道」など健康増進に役立つ施設整備又はその支援</li></ul>

#### 【これまでの取り組み】

- ・活動団体による取り組み：太極拳、健康体操
- ・健康サロン（まるまるサロン／社会福祉協議会）



## 柱3 豊かに暮らしたい

### ⑥みんなが活躍できる八名(まち)に

地域は人から成り立っており、人こそ大切な資源であり財産です。八名地域に住んでいる方々の知識や技術を発揮してもらえる場を用意することで地域の課題が解決するだけでなく、そこで生まれる交流により地域が活性化することを目的とした取り組みを行います。

項目	内容
・活躍する人の発掘と応援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・研修会の開催</li> <li>・活躍の場の提供</li> <li>・マッチングの場づくり</li> </ul>

#### 【これまでの取り組み】

- ・地域拠点で相談事を関係者へつなぐ
- ・共育推進委員会で地域講師として地域住民を登用

### ⑦地産地消のできる八名(まち)に

八名は地力に恵まれ農業に適した地域です。八名の地力を活かして作る楽しみ、食べる楽しみを感じられる取り組みをします。

項目	内容
・地産地消の啓発への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地元産品の流通支援</li> <li>・果実を使った和菓子作り</li> <li>・イベント及び朝市等の広報支援</li> <li>・生産と消費のマッチングを図るための情報交換の場づくり</li> </ul>

#### 【これまでの取り組み】

- ・八名中学校での取り組み  
H29八名弁当、H30八名丸ぼて〜と、R1八名丸五平団子の提案
- ・朝市で作物を販売できる仕組みづくり
- ・活動団体による特産物づくりの試み（青パイヤ）

### ⑧魅力のある八名(まち)に

八名地域には数多くの史跡や祭り、伝統芸能が受け継がれており現在でも多くの団体や地域住民により保全されています。また、八名は大小さまざまな河川や多くの森林に囲まれ自然豊かでありそれらを守り次世代へ引き継ぐため環境や景観を保全し住みやすく魅力ある地域にします。

項目	内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動団体による史跡・伝統・文化の保存、伝承活動</li> <li>・きれいなまちづくりへの取り組みの検討</li> <li>・スマートIC供用開始による地域振興</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・史跡・伝統文化の保存、伝承活動の支援</li> <li>・景観保全の支援</li> <li>・クリーンフェスタ</li> <li>・悪臭のないまちづくり</li> </ul>

#### 【これまでの取り組み】

- ・活動団体による史跡保存（宇利城跡、五葉城址、八つ井戸など）
- ・クリーンフェスタ
- ・活動団体による環境・景観保全活動（富岡まちづくり協議会、吉祥山トレイルプロジェクト、黒田花を楽しむ会など）

## 柱4 つながりあって暮らしたい

### ⑨交流できる八名(まち)に

いざというときに助け合うことのできる「つながり」は地域にとってなくてはならない大切なものです。様々な活動を通して地域の「つながり」を広げ、世代間交流と住民間や活動団体間のネットワークの強化を図る取り組みを行います。

項目	内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交流拠点の整備</li> <li>・「文化祭」等発表の場づくり</li> <li>・団体間のネットワークを広げる取り組み</li> <li>・公共的な活動を行う団体の設立や活動を支援する取り組み</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・”公民館活動（文化展）”への支援等</li> <li>・活動団体間の連携</li> <li>・”趣味の団体”等のPRや活動発表の場をつくる</li> <li>・必要に応じて「部会」を設ける</li> </ul>

#### 【これまでの取り組み】

- ・地域拠点の開設（H30～R2 JAプラザを拠点とした）

### ⑩情報が共有できる八名(まち)に

八名には多くの地域資源があります。目的を持った情報の収集・整理・蓄積・更新により地域課題の解決に役立て、八名全体で情報を共有できる仕組みづくりをします。

項目	内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の行事等の情報提供</li> <li>・情報共有のための茶話会の開催</li> <li>・情報の更新と活用、周知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・協議会だよりの発行</li> <li>・デジタル化の促進</li> </ul>

#### 【これまでの取り組み】

- ・危険箇所情報をマップに表示し、JAプラザにて閲覧
- ・八名いいところマップの作成
- ・活動団体の支援（ふるさと遺産を保存する会）

### ⑪地域ぐるみで育てる八名(まち)に

新城市には子どもを中心に地域ぐるみで共に過ごし共に学び共に育つ「共育」があります。八名ではこの取り組みをさらに深め、地域への愛着をはぐくむ取り組み「郷育（さといく）」を併行して進めます。

項目	内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>・共育と連携した郷育の実施</li> <li>・各種リーダーの発掘・育成に向けた取り組みを行う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでの取り組み（下記）を継続する</li> <li>・勉強会・研修会を開催する</li> </ul>

#### 【これまでの取り組み】

- ・「共育の日」に合わせた活動
- ・親子ふれあい活動（八名小）
- ・共育運動会（庭野小）
- ・共育ふれあい活動（八名地区共育推進委員会）
- ・学校と連携した共育活動の実施
- ・共育コーディネーターの配置
- ・こども園、小学校への英語講師派遣

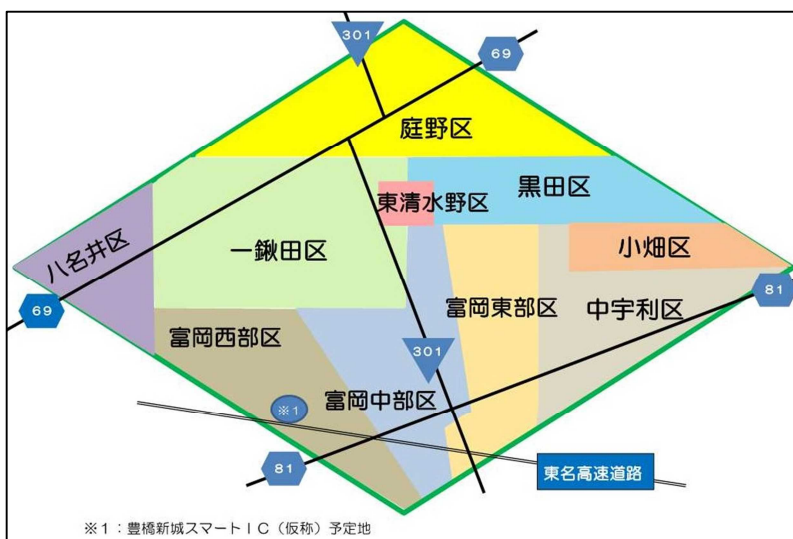
## 第3章 資料編

### 1 八名はこんな地域

#### (1) 場所と交通

八名地域は、新城市の南部、豊川の左岸に位置し、東は静岡県に接しています。総面積は39.35km<sup>2</sup>、市全域(499.23km<sup>2</sup>)の約7.9%で、山林が約34.3%、農地が約26.6%を占めています。人口は約4,600人で、市全体の約10.5%を占めています。庭野から一鍬田の豊川沿いと静岡県との県境付近は「桜淵県立自然公園」に指定されるなど豊かな自然を有する地域です。

八名地域の主要道は浜松と豊田を結ぶ国道301号(1970年指定)が縦断し、豊川沿いに県道69号(豊橋乗本線)があり、地域の南部には県道81号(豊橋山吉田線)が横断しています。また、比較的新しい主要な市道として、吉祥山の南から東側を半周する大原北神田平線、新城南部企業団地を南北に貫く萩平野川太田線と東西に貫く一鍬田黒田線があります。さらに近い将来、東名高速道路のスマートインターチェンジが県道81号の豊橋市との市境付近に開通予定となっています。しかし、鉄道や主要な国道(151号)は豊川右岸に整備されたので、左岸にある八名地域では交通の要衝とはなりません。また、豊川を渡る道路橋は長く「新城橋」のみでしたが、2006(平成18)年には「野田城大橋」が開通し、151号と301号が最短で結ばれました。(牟呂松原用水頭首工の改修に伴い1994年に海倉橋が開通している。)住民の“足”は自家用車に頼っていて、特に小学生や高齢者の“足”は公共バスが1路線あるものの、その改善が課題となっています。



※八名は10行政区(小畑区、中宇利区、富岡東部区、富岡中部区、富岡西部区、黒田区、

庭野区、一鍬田区、八名井区、東清水野区)で構成されています。

※山林割合は林地台帳より、農地割合は土地課税台帳より算出しています。



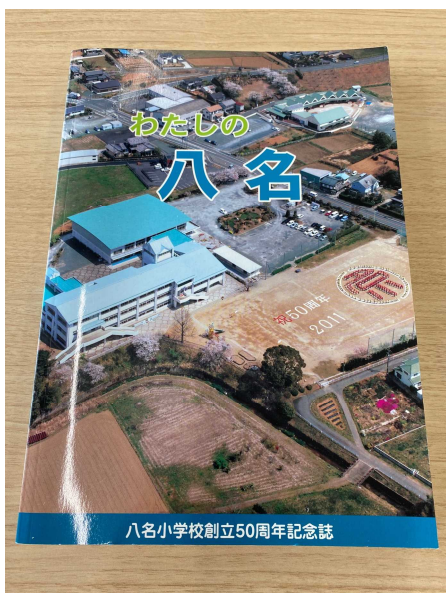
## (2) 歴史と史跡・伝統文化

「八名地域自治区」の名称は旧八名郡八名村に由来し、自治区の範囲は旧八名村です。1878（明治11）年に設置された八名郡は豊川左岸にあり、東は静岡県境まで、上流は七郷から下流は多米・牛川に及びました。八名村は1906（明治39）年に長部村と富岡村が合併し、誕生しました。八名郡の中心として、郡役所をはじめ登記所、裁判所、税務署、警察署、郵便局や銀行などが置かれ、八名郡の政治経済の中心でした。



しかし、1926（大正15）年に郡役所が廃止されて、昭和に入ると下流域は豊橋市や豊川市・宝飯郡一宮村に編入され、八名村は、1955（昭和30）年に新城町・千郷村・東郷村・舟着村と合併し南設楽郡新城町となりました。（その後、旧新城市・現新城市となる。）

なお、現在八名地域にある「行政区」は、（東清水野区を除いて）明治初期以前の「村」を単位としており、それぞれの区では伝統文化や行事等を継承しています。また、史跡もそれぞれの地区の住民により守られてきました。※八名地域の自然や歴史を分かり易くまとめた書籍として、八名小学校創立50周年記念誌「わたしの八名」（2011（平成23）年10月、八名小学校区に配布）があります。





## <伝統文化>

<sup>とみおかぎおんまつり</sup>富岡祇園祭（富岡中部区）、<sup>にわのかぶき</sup>庭野歌舞伎（庭野区）、<sup>まっしやめぐ</sup>お末社巡り（黒田区）、  
<sup>ひとくわだてんのうさい</sup>一鍬田天王祭（一鍬田区）

## <史跡・文化財>

<sup>うりじょうし</sup>宇利城跡、<sup>びくにじょうし</sup>比丘尼城跡、<sup>ごようじょうし</sup>五葉城跡、<sup>はんばらはんていあと</sup>半原藩邸跡、<sup>もくぞうやくしによらいぎぞう</sup>木造薬師如来坐像、  
<sup>こんすいじあと</sup>今水寺跡、<sup>もちづきげじゅうたく</sup>望月家住宅、<sup>はたがしらやまおねこふんぐん</sup>旗頭山尾根古墳群、<sup>よなきいしこふん</sup>夜泣石古墳、<sup>まかごこふんぐん</sup>摩訶戸古墳群

## <名所>

<sup>さくらぶちこうえん</sup>桜渚公園、<sup>ふかじていえん</sup>富賀寺庭園



### (3) 主な公共施設

#### ●公共施設等

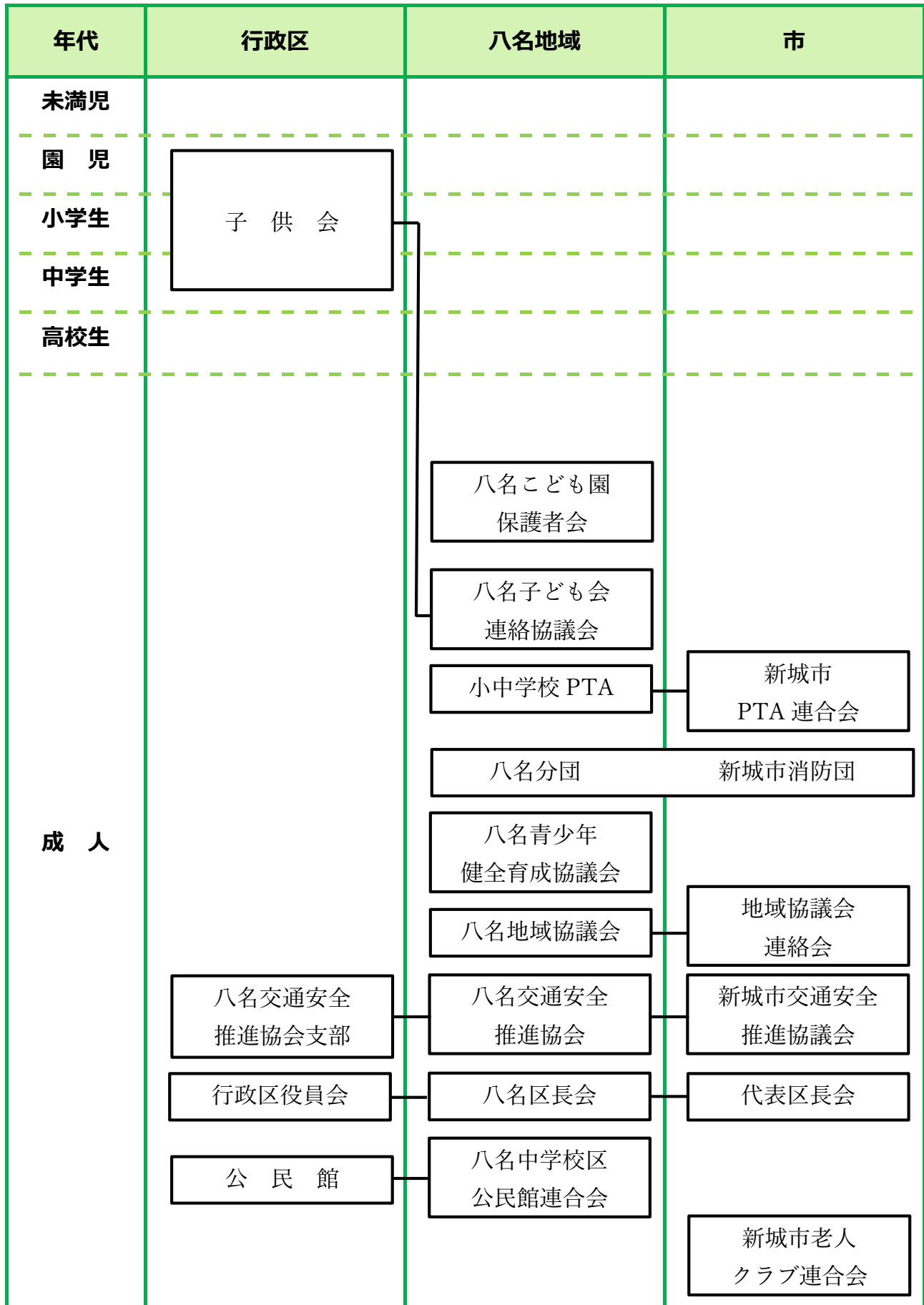
項 目	状 況
行政 区	小畑区、中宇利区、富岡東部区、富岡中部区、富岡西部区、黒田区、庭野区、一鍬田区、八名井区、東清水野区
集会施設	10館（各行政区に1館）
こども園	八名こども園
学 校	八名小学校、庭野小学校、八名中学校
公 園 ・ 広 場	桜淵公園、小畑公園、中宇利第一公園、中宇利第二公園、富岡中部公園、富岡西部公園、黒田遊園地、庭野第一公園、庭野第二公園、一鍬田区民広場、八名井企業団地公園、清水野公園
駐 在 所	富岡駐在所、一鍬田駐在所
消防設備	消防ポンプ自動車2台、可搬消防ポンプ積載車2台、消火栓87基、防火水槽62基
消防団詰所	第1班（小畑、中宇利）、第2班（富岡東部、富岡中部、富岡西部）、第3班（黒田、一鍬田、八名井、東清水野）、第4班（庭野）
避難場所	中宇利集落センター広場、富岡ふるさと会館広場、八名小学校運動場、八名中学校運動場、庭野小学校運動場、一鍬田公民館広場、八名井集落センター広場
避 難 所	八名小学校、庭野小学校、八名中学校
郵 便 局	新城郵便局八名支店
農 協	愛知東農協八名支店、愛知東農協八名給油所
福祉施設	養護老人ホーム寿楽荘、特別養護老人ホーム奇楽荘、アオラニベース、ろくじゅデイサービス新城、グループホームきらら
医療機関	富岡歯科診療所、八名歯科クリニック
その他施設	新城青年の家、しんしろ斎苑、新城市清掃センター、新城南部処理場、水資源機構 豊川用水総合事務所 新城支所



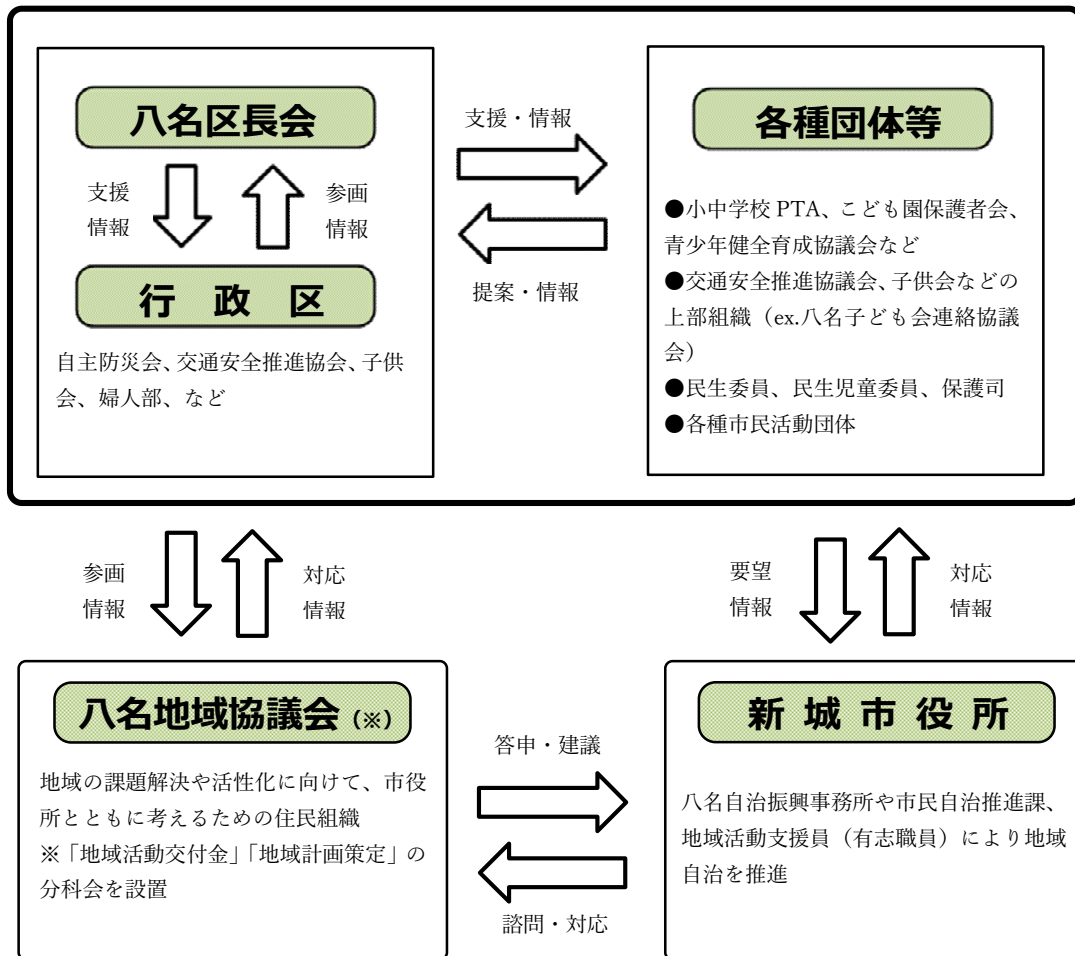
## (4) 地域内組織

### ●地域の組織

(令和5年3月現在)



## ●組織の関係図



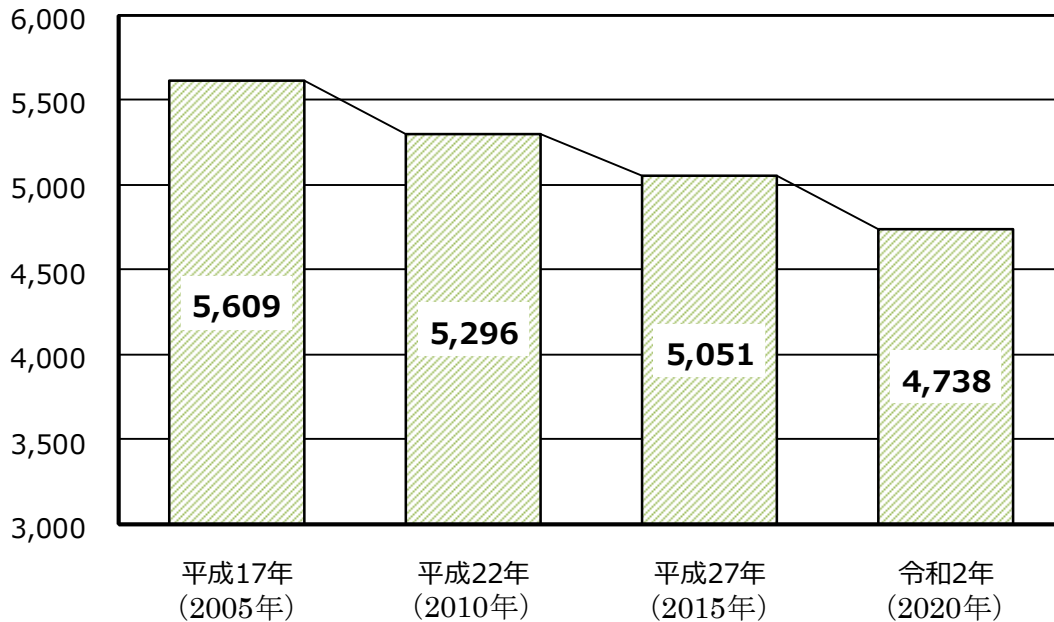
## ※地域協議会の役割

- ① 地域に関する市政への提案を行います。(建議)  
地域自治区予算の活用方法や、制度を運用していく中で見えてきた制度自体の課題などに対する提案を行います。
- ② 地域活動への支援について審査します。(審査)  
地域活動交付金の交付申請団体に対し、地域活動がよりよい形で行われるよう、助言・審査を行います。
- ③ 市長からの問い掛けに意見を述べます。(答申)  
地域自治区内のことに関する市の重要な施策や計画の策定など、市長から諮問されたことに対して、地域の意見として答申します。

## (5) 人口推移

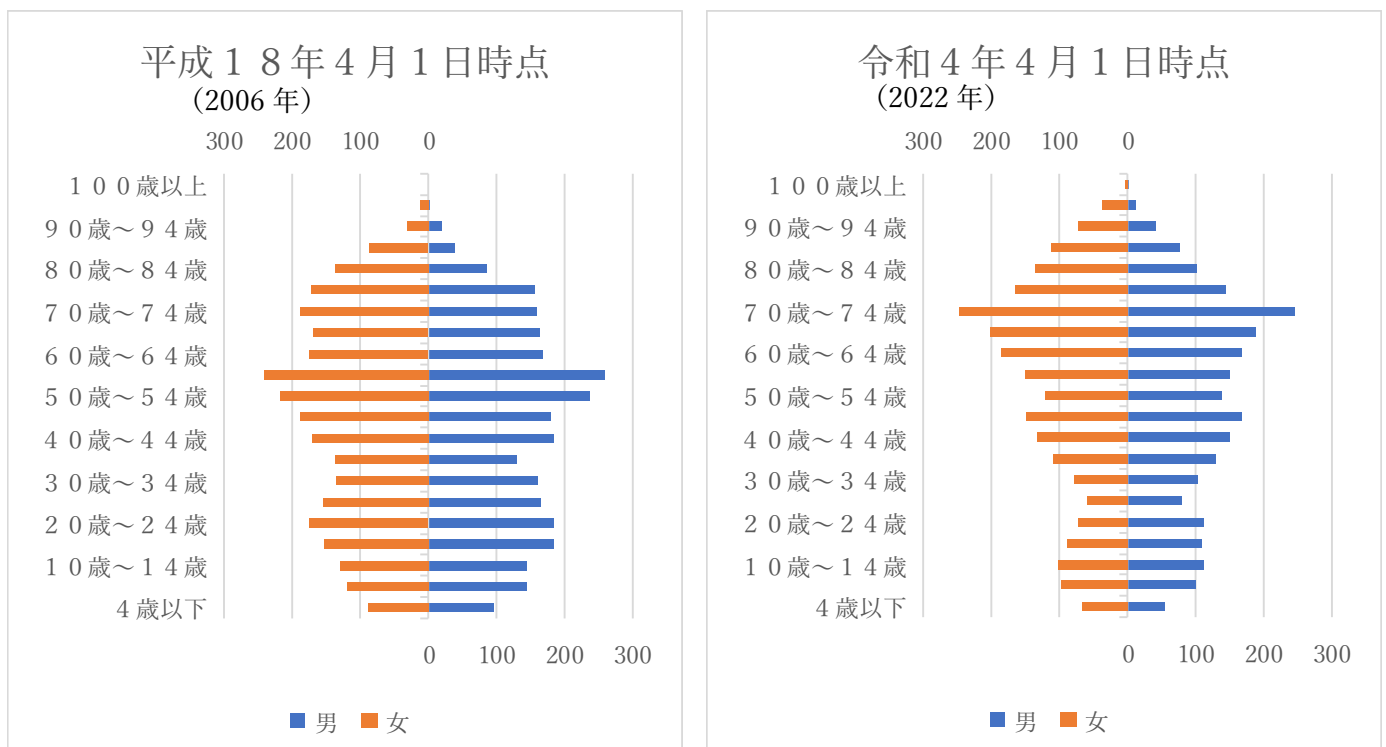
●人口が減少しています。

【八名地域の人口の推移】 (単位：人)



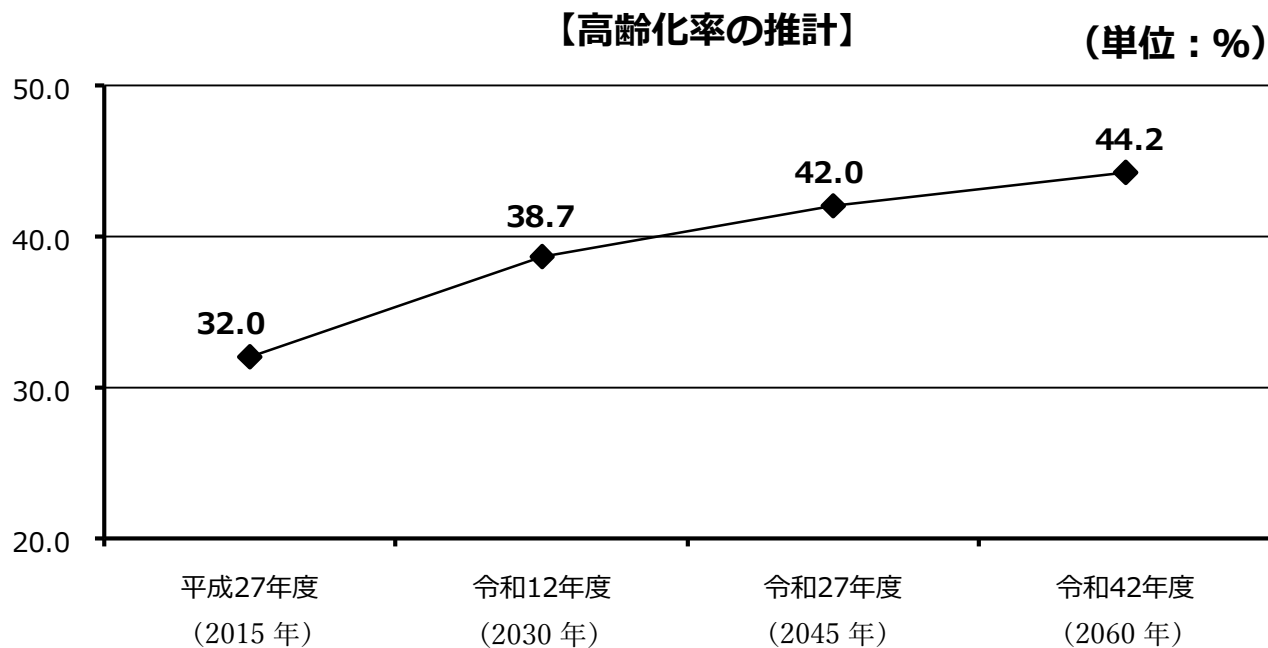
八名地域の人口は、年々減少しています。令和2年と平成17年を比較すると、15年で871人(15.5%)減少しています。

【八名地域の人口ピラミッド】 (単位：人)



参考：【八名地域の人口の推移】…国勢調査結果を加工して作成  
 【八名地域の人口ピラミッド】…住民基本台帳を加工して作成

## ●高齡化の進行が予想されています。



参考：【高齡化率の推計】…国立社会保障・人口問題研究所推計値を加工して作成

八名地域では、65歳以上の人口割合が高く、今後も高齡化の進行が予想されます。

## < データから考える今後の課題 >

地域を支えてきた担い手が減り、支えられる人の急増期に入ってきており、地域に残る若者の担い手負担が急増し、精神論では解決できない負担へとになっていくことが考えられる。

今後、地域の困り事が増える一方、解決する担い手不足が顕著になることが予想される。

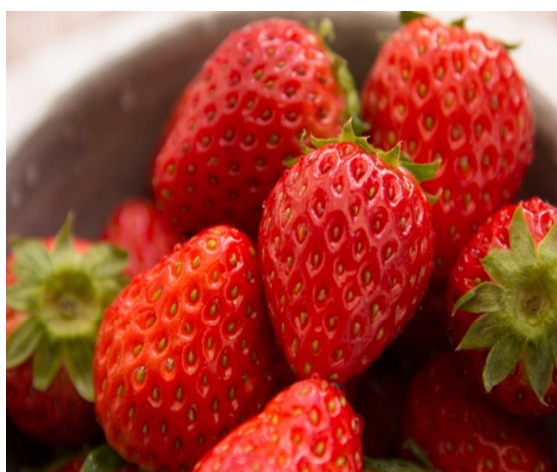


## (6) 主な産業

八名地域は農業が盛んな地域です。古くは水稲・麦・野菜・茶や果樹が栽培され、養蚕も盛んでした。1950～1960年代に行なわれた豊川用水事業とそれに伴う土地改良事業による区画整理により、特に稲作は効率化され、JAライスセンターも稼働しています。養蚕は1960年代に衰退し、代わってお茶の栽培が盛んになりました。

しかし、1970年に開始された米の減反政策や消費の減少等により稲作は次第に減少しています。加えて近年は高齢化等により就農人口が減少し、耕作されていない田畑が目立つようになりました。太陽光発電施設に替わった農地も多くなっています。

それでも、依然として八名地域は農業が重要な産業の一つです。丸い形や強い粘りが特徴の「八名丸さといも」など伝統野菜や様々な野菜や果樹が生産されています。



また、八名地区には三つの企業団地があります。八名井企業団地、八名企業団地、新城南部企業団地で、製造業・物流業併せて十数社が営業しています。



しんしろ八名井企業団地



新城南部企業団地



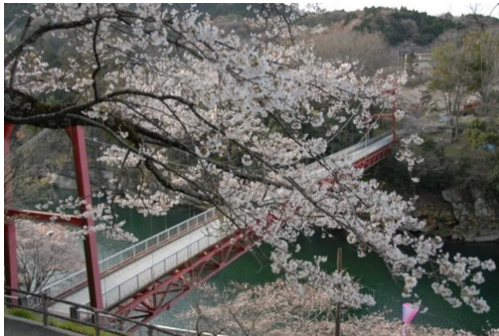
新城八名工業団地



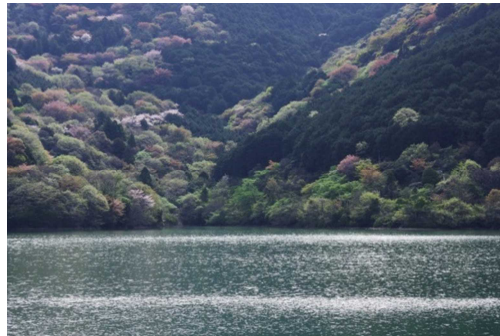
## 2 アンケート（H28年度実施）より

### （1）おすすめの場所

- 桜淵公園 ●五葉湖 ●吉祥山 ●雨生山
- 世界の桜の園 ●コスモスの小径 ●富賀寺の庭園



桜淵公園



五葉湖（大原調整池）

### （2）おすすめのもの

#### 【農産物】

- 八名丸さといも ●栗 ●いちご ●ぶどう ●お茶
- 米 ●なす ●柿 ●桃

#### 【史跡・伝統文化】

- うりじょうし 宇利城跡 ●びくにじょうし 比丘尼城跡 ●とみおかぎおんまつり 富岡祇園祭 ●はんばらはんていあと 半原藩邸跡
- ごようじょうし 五葉城跡 ●よなきいしこふん 夜泣石古墳 ●もちづきけいじゅうたく 望月家住宅 ●にわのかぶき 庭野歌舞伎 ●もくぞうやくしによらいざどう 木造薬師如来坐像
- てんのうさい 天王祭 ●まかごこふん 摩訶戸古墳 ●こんすいじあと 今水寺跡 ●はたがしらやまおねこふんぐん 旗頭山尾根古墳群

#### 【その他】

- 富岡ふるさと会館のホームページ ●明神窯 ●竹細工工房
- 八名地区共育ふれあい活動 ●一鍬田区のホームページ（R2年度廃止）



富岡ふるさと会館のホームページ

URL : <http://tomioka-aichi.jp>



竹細工工房（牧野さん）

### (3) 危険だと思うこと

- ・人通りが少ない道が多く、外灯も少ないので危ない
- ・通学路の横断歩道には信号機が欲しい
- ・歩道の無い県道が危ない
- ・夏になると歩道の草が伸びて危ない
- ・壊れたり、曇ったりしたカーブミラーがある
- ・産業廃棄物中間処理施設の悪臭
- ・農地の管理が不十分で、草だらけになっているところ
- ・北山峠の歩道のひび割れやちょっとした凸凹、滑りやすい所、生い茂った草などにより危険
- ・北山峠の歩道を自転車で走っていると、横から急に車が出てくることがあり危険
- ・工場へ車の出入りがはげしく、危険な場所がある
- ・狭い道路が多い（消防車両が通れない道がある）
- ・公園の老朽化した遊具
- ・イノシシやサルが出て危険
- ・通学路にあるボロボロの建物が怖い
- ・太陽光発電が設置された山の土砂崩れが心配
- ・道路のセンターラインや横断歩道の表示が消えたり、薄くなったりしているところがある
- ・八名中の弓道場が老朽化により、壁が割れ、木が腐り、鉄筋が飛び出ている

### (4) 不便だと思うこと

- ・人通りが少ない道が多く、外灯も少ない
- ・遊具のある遊び場が少ない
- ・大型スーパーが近くにないので車がない人や車に乗れない人にとっては不便だと思う
- ・ガソリンスタンドの営業時間が不便
- ・電車が通っておらず、バスも本数が少ない
- ・豊橋に行くバスがなく、土日祝日はバスの運行自体が無い
- ・車を使ってゴミ出しをできない老人もいるので、ゴミステーションを多く作ってほしい
- ・病院や店が少ない

### (5) こうだったらいいな！

#### 【自然環境】

- ・臭いや水質汚濁の心配がなく、子供達が安心して暮らせる地域になってほしいです
- ・桜淵を春だけでなく、四季を通じていろいろな花を咲かせて観光客を呼べるような場所にできたら…

- ・田舎の良さをもっと広めてほしい
- ・クワガタやカブトムシがたくさんいる木があるといいな・きれいな川で遊びたい
- ・八名の行事として、「ゴミ拾い」や「花植え」などの八名が美しいまちになるようなことができたらやりたいです
- ・気軽に散歩できる自然歩道があるといい

### 【農業】

- ・若者を集うのではなくお年寄りの知恵をいかした農業
- ・農業生産物のブランド化
- ・楽しめる農業だったらいいな！

### 【施設や公共交通】

- ・小さい子ども達が安心して遊べる公園がほしい
- ・市民が交流でき、生きがいづくりができる場所がほしい
- ・八名で作った物を販売できたり、食べたりできる場所が欲しい
- ・コミュニティーバスがあったら嬉しいです
- ・新城PAにスマートICがあると便利

### 【安心安全】

- ・道路をもっと明るく安全で不審者のいない地域にしたい
- ・子供達が安心して学校に通える通学路にしたい
- ・子ども達が安心安全で心豊かに過ごせ、八名は“よい所”と思えるようになればと思う

### 【その他】

- ・地域全体の運動会などが実施できると交流、団結がすすむと思う
- ・有名な場所をふやしてたくさんの方が来てくれるといい
- ・高齢社会になったので各世帯で声を掛け合って暮らしていけたら良いと思います
- ・中学校の部活を地域の方が講師としてサポートする
- ・共育を八名全体で行える

### 3 地域計画策定の経過

年度	内 容
H25	地域自治区制度が施行された。
H26	地域自治区制度により新たに創設された「地域活動交付金事業」や「地域自治区予算事業」を活用し、地域づくりを進める中で、地域が目指す方向を明確にすることの重要性に地域住民自らが気づき、地域計画の策定が求められてきた。そのような声を受け、平成27年度地域自治区予算事業計画として「地域計画に関する講演会」の開催を建議した。
H27	地域自治区予算事業計画の策定時に、八名地域の状況をマップなどで「見える化」して状況を把握した上で予算を活用すべきといった提案があったことから、地域自治区予算事業計画として「地域情報マップ作成事業」を建議すると共に、平成28年2月に「地域づくり講演会」として、マップを活用した地域計画づくりの手法を学んだ。
H28	地域協議会において「地域計画策定分科会」を新設し、「地域情報マップ作成事業」を活用して、地域計画策定に向けた現状把握を行った。現状把握はアンケート調査の結果によって作成した地図により行った。また、地域計画の必要性や、計画づくりへの参加を促すためのPRスライドを作成した。
H29	地域計画を策定段階で地域に公表し、多くの地域住民に関わって計画を策定できるよう働きかけを行い、平成30年2月に計画を策定した。
H30	ヒアリングなどにより、地域計画を深掘りし、平成31年2月に計画を改定した。
R1	茶話会を実施し、地域住民の声を聞いた。
R2	地域計画の振り返りを行った。
R3	令和2年度の地域計画の振り返りを基に計画の見直しを始めた。
R4	地域計画の見直し（4年目の修正）及び、リーフレットの作成を行った。

八名地域自治区

検 索



最新版の「八名地域計画」は、新城市のホームページに記載しています